

一般社団法人 SCM共同ネット研究会 代表理事 滝沢保男

〒105-0023 東京都港区芝浦1-13-10 第三東運ビル8F
TEL : 03-5419-8239 FAX : 03-3455-7023 URL : <http://www.scm-net.jp>

一般社団法人SCM共同ネット研究会（滝沢保男理事長）は、第11期の異業種共同ネットの組織活動を開始し、12か月が経過した。

「人と人、企業と企業の架け橋に」「共同・三方良」をコンセプトに掲げ、物流をベースに、企業間及び人の関係性の構築を支援、提案を行っている。現在では業界の枠を越え異業種との連携で独自のヒューマンネットワークを構築し、70を超える企業に加盟いただいている。

次世代共同物流事業、ICLT事業、物販サービス事業、相談サービス事業、イベント広報事業サービスの5つの事業を通じ、会員企業支援活動（ビジネスマッチング、販路拡大等）や企業間同士での共同での営業の形を形成している。

（本部事務局）

一問一答～リーダーの羅針盤～
ゲスト：株式会社大徳
代表取締役 千葉 大也氏

第15回は株式会社大徳 代表取締役の千葉大也氏にお話を伺った。

——事業紹介

物流サービスとハウスマンテナンス事業を軸にやっています。物流サービスは物流倉庫内の現場の作業（荷役・検品の請負）と軽貨物運送（冷蔵冷凍車両を使った食品等の冷凍冷蔵が必要な商品の配送）を行っています。ハウスマンテナンスでは住宅のフローリングのコーティングを行っています。

——経営理念

立派な理念は掲げておりません。会社は5月で3期目に入ったのですが、順調ではなく苦しいことが多かったのが正直なところです。そんな苦境でも「あきらめない！」という心でやってきました。

——今後の展望

なんとか2期目を終えることができました。4月からは軌道に乗ってきて

いますので今後は各事業を広げていくように足元を固めていきたいです。ゆくゆくはハウスマンテナンスの部分でオフィスの清掃や内装関係にもチャレンジできればと考えています。

——起業したきっかけ

もともと物流専の専門短大を卒業していて、20歳の時に社会人になり、倉庫内荷役の会社に勤めていました。当時休憩所にいるとあまりポジティブな話が聞こえて来ず、このまま自分もこうなってしまうのかと思うようになり、怖さがありました。ただ自分みたいな人間、たかが作業員かもしれませんが、世の中の役に立っていると少しでも感じる点で、この物流という仕事が、私は本当に好きです。あとは業界が、職人気質な建築業界に似た部分もあるのですが、その反面、単なる人材派遣やピンハネ屋のような会社も増えているというバランスの悪さに疑問を感じています。もっと技術で食べていけるというアピールをしたい、自分でやってみたいという想いで、いろいろな方とのご縁もありながら始めました。

——座右の銘

心掛けているのは、好きなアーティスト（日本人HIP-HOPアーティストのAK-69）の言葉ですが、「言ったことを、やってのける」です。大方の人は壁にぶつかる途中であきらめてしまうことがあると思います。でもそういうことがあるともやりたいことを最後まであきらめないでやり続けたいと考えています。

——社員の皆様への想い

苦しかった時、誰しものが不安だと思っている時でも、自分を信じて誰一人抜けずについて来てくれました。皆同じくらいの年齢で結婚をしている人もいます。生活に不安を抱くようなこの環境でも、これから先の話と一緒に熱く語ったり、想いを伝え合えるというのは、本当に心強い存在だと思っています。今のところなぜこんな自分についてきてくれるのか、わかっていません。今はその理由を作るために頑張っていきたいと考えています。

——初恋の相手

幼稚園の時にいた、みなみちゃんです。可愛かった記憶はありますが、顔は覚えていません。私は小さい頃から車が好きでしたが、みなみちゃんのパパがBMWに乗って幼稚園にお迎えにきていたのを見て、カッコいい！と感じたのははっきり覚えています。



※本インタビューはYoutubeのSCMチャンネルにて動画配信しておりますので、続きは本編をご覧ください。

SCM 会員紹介(その 110) プライムバリュー株式会社

◆会社紹介

プライムバリュー(株)は、宮城県仙台市を拠点に企業のIT化・DX化の支援を行う東北のITスタートアップ企業です。現在は新規事業「B-order」の開発に注力。同サービスは災害時の物資要請環境のデジタル化から始まり、企業間取引のデジタル化を実現するクラウドツールとして全国提供を予定しています。

◆B-orderとは？

弊社で開発・提供予定の「B-order」はクラウド型物資要請サービスです。災害時、自治体は避難所などの備蓄品が消費された段階で協定を結ぶ企業・団体に対し、物資要請を行います。この要請は「電話」や「FAX」が当たり前です。自治体もしくは大手企業と連携し物資を輸送する物流企業様も連携手段がアナログな環境のため混乱が生じた、等の意見をいただいています。B-orderはWeb上で自治体から要請を受け取れるサービス。これまでは電話やFAXなど時間や場所が限定されていた要請環境をデジタル化しより円滑に災害支援が行えるツールとなります。

B-orderを導入することで災害時の環境改善を行うことが可能です。また、B-orderは災害時に利用する「物資要請版」と併せて、企業間取引用の「B2B版」をリリースする予定です。自治体と企業を繋ぐだけでなく、企業間取引のデジタル化も実現します。物流企業は大手

企業を取引先としながらも、受発注はFAXで行われていたりアナログな環境のままであることも少なくありません。B-orderは物資要請版で得た知見と大手企業が共通で利用するというネットワークを強みとし企業間取引のデジタル化ツールとしても活用いただくことが可能となります。

B-orderの特徴は基本利用料無料です。ご利用の頻度や利用されたい機能に応じて追加で料金をいただくモデルとなり、多くの自治体・企業に導入しやすいモデルとなります。

◆B-order事業を始めたきっかけ

2011年に起きた東日本大震災、弊社代表の吉田は仙台市で被災致しました。被災の後、東北は多くの方々からご支援いただき復興することが出来ました。弊社を創業したのち、「災害環境の改善に何か出来ることはないか？」という想いで2020年に仙台市が主催する「防災xTech」に参加したことを通じて、災害環境が10年以上経つにも関わらず変わっていない事実を知り、B-order事業を進めることを決意し、現在に至っています。現在、B-order「物資要請版」はβ版をリリースし宮城県の自治体・企業を中心にテスト利用していただいております。



物資の要請を効率的に。
災害環境をデジタル化する



◆今後のスケジュール

B-order「物資要請版」は、2022年夏に正式リリースする予定です。すでに宮城県の複数の自治体に導入が決まっており、高いご評価もいただいています。宮城県の導入事例をもとに今後大きな災害が予想される首都直下型地震や南海トラフ地域に先行してサービスの導入提案を行ってまいります。また、10月にはB2B版のβ版をリリースし、企業様の環境改善としてのサービス提供も進めて参ります。もし、ご興味をいただきましたらお気軽にお問い合わせ下さい。



代表取締役の吉田亮之氏

プライムバリュー株式会社

〒981-1234 宮城県名取市箱塚1丁目18-13
TEL: 022-226-8755
URL : <https://www.prime-value.co.jp/>

誕生月別、今月のビジネス運勢			
1月生まれ	2月生まれ	3月生まれ	4月生まれ
焦らず着実に準備を行う月。	気持ちが急いで雑になりやすい月。	気持ちに従い大胆にチャレンジをする月。	流されず、自分の信念に従い決断する月。
5月生まれ	6月生まれ	7月生まれ	8月生まれ
人目を気にせず、本心を打ち明け前進する月。	一度立ち止まり、本心を確認するタイミング。	手一杯になる時こそ丁寧さを大切に月。	新しい価値観を育むタイミング。
9月生まれ	10月生まれ	11月生まれ	12月生まれ
目移りしやすいが、慎重に信頼を重ねる月。	良い意味で人の期待を裏切ることを大切に。	考えすぎず行動に移し続ける月。	勢いを大切に、時期を逃さず取り組む月。